

博報堂DYホールディングス、LGBTQ+のイベント 「Tokyo Pride 2026」に協賛し、ブースを出展

「今日はだれとなに話そう。Wacha! Wacha!」
「ちがい」や「おなじ」について、「わちゃわちゃ」と話すトークテーマを紹介

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：西山泰央）は、アジア最大級のLGBTQ+関連イベント「Tokyo Pride 2026」に協賛し、6月6日（土）・7日（日）に代々木公園イベント広場および野外ステージで開催される「Pride Festival」にブースを出展いたします。

当社グループから、株式会社博報堂、株式会社大広、株式会社読売広告社、株式会社Hakuhodo DY ONE、ソウルアウト株式会社、株式会社オプト、ENND PARTNERS 株式会社、株式会社博報堂テクノロジー、株式会社博報堂DYコーポレートイニシアティブ、株式会社博報堂プロダクツも参加します。

ちがいを知ろう。
おなじを知ろう。



人を知ろうとするとき。
誰かと仲良くなりたいと思うとき。
私たちは共通点を探す。
同じところで笑ったり、同じ景色をみて感動できるだけでも、
分かり合える気がする。

一方で、人たちがうからこそ、人をもっと知りたいと思う。
気づけなかった一面にリスペクトが生まれる。
ちがいを理解し尊重することは、相手だけでなく、
新しい自分や考え方に会えるチャンス。

自分とおなじ部分とちがう部分。
両方の目線でさまざまな人が理解し合えたら、
きっと素敵な世界になるはず。
さあ、まずは相手を知ることからはじめませんか。



当社グループでは、2022年にグループ人権方針^{*1}を制定。また2023年にはDE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）方針^{*2}を定め、生活者である社員一人ひとりが、自らのクリエイティビティを通じて生活者や社会のさまざまなテーマとつながり、未来をつくる存在として、あらゆる人が自分らしくいきいきと活躍できる社会の実現を目指しています。

博報堂DYホールディングスは昨年に引き続き2年連続で本イベントに協賛し、ブースを出展します。ブースでは、「ちがいを知ろう。おなじを知ろう。」というステートメントのもと、「今日はだれとなに話そう。Wacha! Wacha!」をテーマに、自分との「ちがい」や「おなじ」について、「わちゃわちゃ」と話すきっかけとなるトークテーマをイラストとともにご紹介。アンケートにご回答いただくと、トークテーマを添えたティーバッグのガチャを回していただけます。

大切な誰かと一緒に、おいしいお茶を飲みながら、「わちゃわちゃ」話してみませんか。

※1 博報堂D Yグループ 人権方針 https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/social/humanrights_policy/

※2 博報堂D Yグループ DE&I 方針 https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/social/diversity_inclusion/

■実施概要

日時：2026年6月6日（土）・7日（日）11:00～18:00

場所：代々木公園イベント広場&野外ステージ

博報堂D Yホールディングスブース：PURPLE 33

イベントページ：<https://pride.tokyo/festival/>

■今回のテーマ・施策

Wacha! Wacha!



今日は、
だれと
なに話そう。

知っていましたか？

緑茶に、紅茶、ほうじ茶。

実は、同じ葉っぱからできています。

同じ茶葉でも、産地や製法次第で

全然ちがう味になる。

人の個性も、きっと同じ。

自分とちがうところも、おなじところもある。

そんな「ちがい」と「おなじ」に

まつわるトークテーマについて、

おいしいお茶を飲みながら

わちゃわちゃと話してみませんか。



※ブースでアンケートにご回答いただくと、トークテーマを添えたティーバッグのガチャを回していただくことができます。（ティーバッグはお持ち帰りいただけます）

■クリエイティブ協力

・全体監修

森永貴彦（立命館大学 総合科学技術研究機構 客員准教授）

・スローガン／ステートメント／アクティベーション企画

山崎博司、平野琢也、大野眞子、梶川裕太郎、永井志帆、阿部裕一（博報堂）

・レインボーロゴ制作

永井一史、藤田連（博報堂デザイン）

【博報堂D YグループのLGBTQ+に関連した取り組み】

当社グループでは、LGBTQ+当事者が自らの力を発揮できる環境を整えるため、グループ各社それぞれの状況に応じて、以下のような取り組みを推進しています。

●取り組みの表明

グループの方針として DE&I 方針や人権方針を定め、LGBTQ+に対する考え方の浸透を図っています。

●アライネットワーク

アライの従業員同士がつながり、ともに学び考える機会をつくる活動を始めています。

●学ぶ機会の提供

グループ横断の取り組みとして、LGBTQ+研修動画の配布やメールマガジンの配信、外部ゲストを招いたトークセッションなど社員が多様な性のあり方について学べる環境を整えています。

●制度整備

配偶者の対象を事実婚や同性パートナーにまで拡大し、各種人事制度や福利厚生を等しく適用しています。さらに、本人が希望する性の選択を尊重するとともに、トランスジェンダーやノンバイナリーの従業員の声を反映した柔軟な対応を推進しています。

●相談窓口の設置

性のあり方、性的マイノリティにまつわる相談窓口を設置し、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

▷これらの取り組みが評価され、博報堂は、LGBTQ+への取り組みに関する評価指標「PRIDE 指標 2025」にて最高評価の「ゴールド」を2年連続で取得しました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/info/120366/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 玉

koho.mail@hakuhodo.co.jp